

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：うみの風保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：山田 雅子	定員（利用人数）： 45(46) 名
所在地：〒231-0801 横浜市中区新山下1-4-16	
TEL：045-628-1630	ホームページ：https://umi-kaze.ed.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2007年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人 聖ヶ丘学園	
職員数	常勤職員： 14 名 非常勤職員 7 名
専門職員	保育士：園長 1名 栄養士 1名
	保育士：主任、副主任 2名 調理員 4名
	保育士 15名
施設・設備 の概要	乳児室(0～2歳児室) 2室 トイレ 6室
	幼児室(3～5歳児室) 1室 事務室 1室
	沐浴室 1室 職員休憩室 1室
	調理室 1室 園庭 78.67㎡
	鉄骨造り3階建て 建物延床面積306.89㎡

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

「共に生き、ともに育ち合う」

子どもの主体性を尊重し、家庭と保育園、地域の方が他と連携を密に取り児童の福祉を積極的に推進しています。

## 【基本方針】

「褒めて認めて励まして、しっかり抱きしめ、受け止める」

日々の保育の中で、褒めて認めてあげることにより、自信へとつながり、また励ますことで頑張ろうとする力や、困難に出会ったときに立ち迎えらるよう、しっかり一人ひとりの子どもの気持ち(心)に寄り添い受け止めていく応答的な保育を行うよう努めています。

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

うみの風保育園は、みなとみらい線の元町・中華街駅から徒歩5分の交通の便の良い、海岸に程近いところにあります。近くには港の見える丘公園、山下公園、新山下公園、中華街、元町商店街等があります。子どもたちは、天気の良い日には公園に散歩に出かけています。

2007年4月開園で、鉄骨造り3階建ての園舎に、0歳児から5歳児まで46名定員45名)が在籍しています。

運営法人は学校法人聖ヶ丘学園で、聖ヶ丘教育福祉専門学校、にじの風保育園（鶴

見区)、ひかりの風保育園(保土ヶ谷区)、育和幼稚園(保土ヶ谷区)、八幡橋幼稚園(磯子区)を運営しています。

【園の特徴】

「元気と笑顔、そして感謝する心」を保育目標として子どもの自主性・自立性を育て、楽しく過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

4、5歳児については縦割り保育を基本とし、異年齢の子どもたちが触れ合うことで様々な刺激を受け、興味や関心の幅を広げるようにしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月30日(契約日) ~ 2023年 3月24日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3回(2017年度)

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 子どもたちの話し合いを通して意欲的に活動に参加できる環境づくり

4、5歳児クラスで 当番活動について「どんなことをやってみたいか、これなら手伝えるよと思うことをみんなで話し合おう」とミーティングを行いました。「お当番でこんなことをやりたい」「危ないよ。ケガをするよ」「食事前にテーブルを出すのはどう?」などたくさんの意見が出ました。テーマを決めてみんなで話し合うことを通して、友だちの話を聞く姿勢を身につけたり、みんなで考え、伝え合うことの楽しさを感じたりできるようにしています。発表会の出し物や配役についての話し合いの時は、円になってお友だちの顔を見ながら話すことで、子どもたちは意欲的に話し合い活動に参加しています。

2. 全職員で子どもを見守り子どもの気持ちを受け止める保育

各クラスは小人数で構成されています。毎週月曜日に園長、主任、事務員、クラス職員代表で週案会議を開き、子どもの情報をクラスにフィードバックし、全職員で共有しています。職員は保育方針の「褒めて認めて励まして、しっかりと抱きしめ、受け止めて」に沿って、子ども一人ひとりを見守り、子どものやりたい気持ちを受け止め、そばで見守ったり、さりげなく手伝いながら、自分でできたことをほめて認めて自信や次への意欲に繋げています。子ども同士のトラブルでは、相手の気持ちを代弁したり、見通しを持てるように話をしたり、気持ちの切り替えを待ったり、ときには抱っこして気持ちを受け止めています。職員は否定的な言葉、制止する言葉でなく、肯定的で丁寧な言葉かけを行っています。

3. 地域と良好な関係の構築

年3回行われる園の運営委員会に園長、主任、事務員、保護者代表(3名)、町内会長や町内会役員が参加し、情報交換をしています。たとえば、町内会長からみなとみらい線の工事内容について情報を得て、トラックの出入りの調整をしてもらったり、津波避難場所として近隣のビル管理者の協力を得られるようにしてもらったりしています。

老人会のラジオ体操へ子どもが参加をし、職員が毎月の公園清掃をしています。また、中区民祭りや町内の夏祭りに職員がボランティアで参加して、親子体操やおもちのコマや牛乳パックの“パクパク”作りを行うなど、地域へ向けての活動を行っています。

4. ヒヤリハットを園全体で集計・分析した上での改善策の検討を

毎月、職員会議でヒヤリハットを報告し、改善や再発防止に努めています。クラスごとに状況、原因、対応策を記載して発表していますが、園全体で集計して改善策を検討するまでには至っていません。園全体で集計分析し、改善策を職員間で検討することが望まれます。

5. 実施状況の評価を行うことができる中長期計画・単年度事業計画の策定を

職員は現状を把握するための分析手法を使って、園の現状を分析しています。園の課題を職員間で共有し、事業計画を作成しています。しかし、中長期計画および単年度の事業計画について、時期や担当者等が示されていないため、評価可能なものとして策定することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回は、新しい評価基準での受審となりましたが、職員一人ひとり自己評価を行い、職員会議で意見を出し合って自己評価をまとめ上げました。受審したことで、改めて保育園が求められていること、職員がやらなければいけないことを再確認しながら、日頃の保育を見直す機会となりました。また、今回の受審で「全職員で子どもを見守り子どもの気持ちを受け止める保育を行っている」と評価していただいたことは、職員にとって励みとなりました。ご指導いただきました内容におきましては、今後の課題として改善に向けて取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力いただきまして心より感謝申し上げます。評価機関の皆様には、丁寧に観察、評価していただきましてありがとうございました。

うみの風保育園  
山田 雅子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり